

第6回検討委員会 開催概要

「道の駅」整備に向けて、検討委員会を開催しました

那珂市では、那珂インターチェンジ周辺地域を核とした活力あふれるまちづくりの実現に向け、複合型交流拠点施設「道の駅」の整備について検討を進めています。

道の駅の整備に向け、学識経験者や市内事業者、市民代表らが参加し、検討委員会を開催しました。2月17日（金）に行われた第6回の検討委員会では、主にゾーニング、維持管理・運営手法、概算事業費などについての意見交換を行いました。

次年度以降からは、委員の皆様のご意見を踏まえながら、管理運営主体（第三セクター）の構築、管理運営計画の策定に向けた準備などを行い、開業に向けたより具体的な検討を進めていきます。

■ 主な協議内容

- ・ゾーニングについて
- ・施設整備、維持管理、運営手法
- ・概算事業費について
- ・整備効果について
- ・今後の課題について



委員からの主な意見

- ゾーニングについて、分散型の施設配置を推したいと考える。
- 動線計画について、想定プランでは常陸大宮・瓜連方面からの敷地へのアクセスが課題と考える。
- 運営主体について、第三セクターとする場合、地元や外部の出資者をどのように募るかが重要となる。
- 駅長については、経営に精通している必要があり、駅長を補佐する人材も必要である。
- 飲食スペースについて、フードコート（テナント）の場合は人件費が抑えられるため、検討の余地がある。
- 事業スケジュールについて、市民からの期待も強い中で、なるべく前倒しで検討してもらいたい。
- 経済波及効果について、住宅施策との連携など公設民営で波及させるイメージがあるとより良い。
- 初めに訪れる客がインフルエンサーとなりリピーターとなるため、初めの印象が肝要となる。イニシャルコストは多めに確保することも重要である。
- 駅長人事の他にも、運営に携わる人材を早い段階で巻き込むことで、考え方をまとめていく必要がある。

まとめ: 活発な議論が行われ、特に、ゾーニングや運営手法、今後の課題について多くの意見が挙がりました。委員の皆様から頂いた貴重な意見を踏まえ、次年度以降も引き続き検討を進めていきます。

今後の検討委員会のスケジュール（予定）

